

の最近の研究（浅水系における回転成分流からの重力波放射）を、ビール片手に夜遅くまで McIntyre や Haynes と議論できたのは非常に有意義な経験であったし、彼らが興味を持って聞いてくれたことは今後の自信になった。

以上がこのサマースクールの概要である。朝7時すぎに起きて、夕方まで講義を受けるスケジュールが2週間続くという、かなりハードな生活だったが、海外の研究者の意欲的な姿勢が印象的だった。とりわけ、講義の合間の休憩時間に、コーヒー片手に教官や参加者が講義や研究について真剣に議論する姿は記憶に残った。一方で、初日のレセプションに始まり、自己紹介パーティ、正装してのディナー会、週末の自由時間のスポーツ大会、バーベキュー、ケンブリッジの有名なカレッジを通るケム川でのパンティング（てこぎ舟による川下り）等、講義以外の活動も盛りだくさんだった。講義での真剣な姿勢とは一転して、教官も一緒になって余暇を思い切り楽しみ、夜な夜なパブで研究以外のことも語りあった。このような活動は研究を進める上でも大切で、日本人研究者に欠けている点で

はないだろうかと感じた。

また本サマースクールとは別に、ポスター発表で筆者と同じくバランス力学に興味を持つ学生 Le Sommer と知り合い、サマースクール終了後、彼の厚意で、彼の所属するフランスのエコールノルマルシュペリエールの気象学研究室で非公式なセミナー発表をする機会を得た。Zeitlin や偶然滞在していた Lindzen らの前で自らの研究を披露できたのは思わぬ幸運であったとともに、有益なコメントも頂くことができた。

最後に、このサマースクールに参加する機会を与えて頂いた京都大学大学院理学研究科の余田成男教授、石岡圭一助教授にお礼申し上げます。

なお、本スクールへの参加にあたり、日本気象学会国際学術交流委員会より旅費の一部を援助して頂きました。ここに記して、感謝の意をあらわします。

参 考 文 献

- 田口正和, 2000: イギリス・ケンブリッジでの「地球環境流体力学夏の学校1999」に参加して, 天気, 47, 295-297

住所の変更届け等に関するお願い

1. 住所の変更届けは早めをお願いします。

春は移動の季節です。毎年4月初めは転勤・転居と「天気」の発送が交錯して差し戻しが数多く出ており、旧勤務地の方には転送等の迷惑を掛けることにもなっています。それらを防ぐために、事務局でも各支部を通じて移動状況を早めに把握するように努めていますが、各会員におかれても転勤等による住所の変更届けを早く事務局まで連絡して頂くようお願いいたします。

特に、3月末から4月初めの移動の方には新勤務地（新住所）に「天気」をお届け出来るよう、できるだけ早く（3月20日頃迄に）右記の事務局まで、「会員番号」、「氏名」、「旧勤務地（旧住所）」、「新勤務地（新住所）」をメール等で連絡頂くようお願いいたします。

2. 2004年通常会員会費の納入はお済みでしょうか。

会費の納入方法が「郵便振込票」で、まだ2004年会費を納入されていない会員へのお願いです。納入が遅れますと機関誌の発送が停止となることもありますので、まだの方は急ぎ納入いただくようお願いいたします。

3. その他

その他、「気象研究ノート」等のバックナンバーの購入申し入れにもメールをお気軽にご利用下さい。

日本気象学会事務局

tel : 03-3212-8341 (ext2546)

fax : 03-3216-4401

e-mail : metsoc-j@aurora.ocn.ne.jp